

JIS A 5547 F★★★★

環境接着剤シリーズ

JAIA 4VOC基準適合

S1工法用 一液弾力性(無溶剤)接着剤 MS-850

MS-850は変成シリコーンポリマーを主成分とする無溶剤タイプの一液形接着剤です。空気中の湿気(水分)で反応硬化するタイプですので、肉痩せがありません。又、硬化後はゴム弾性体となり、下地の挙動や外的な振動・衝撃などから仕上げ材を守ります。



変成シリコーン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容量	包装形態	梱包単位
14kg	エコパック	1
2kg	フィルムバック	9

用 途

適用箇所	屋内の壁面及び天井面(ブラファスを併用)
適用下地	コンクリート、モルタル、合板、ボード類
適用仕上げ材	<ul style="list-style-type: none"> ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 ・フェノールフォーム保温板

※ブラファスの施工位置は公共住宅建設工事共通仕様書に準ずる。

選択上の注意事項

MS-850は指定用途の組み合わせ以外には使用しないで下さい。

性 質

外 観	灰白色 マスチック状		
主 成 分	変成シリコーン樹脂		
張合せ可能時間	5℃	23℃	35℃
	120分以内	60分以内	30分以内

標準使用量(見かけ施工面積)

モルタル・ コンクリート 下地の場合	500~650g/m ²
	1.5~2.0m ² (1.2枚/3×6板) /kg
	21~28m ² (16.8枚/3×6板) /14kg
	3.0~4.0m ² (2.4枚/3×6板) /2kg

使用方法

■発泡ポリスチレンフォーム複合板の場合
注) 保温材メーカー推奨使用方法がある場合はその方法に従って施工して下さい。

【下地の確認】

1. 下地材が設計通りであることを確認します。
2. 下地は平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥していることを確認します。

【下地の調整及び清掃】

1. 下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材で平滑にします。
2. 下地の毛のり部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材で平滑に仕上げます。
3. 下地面及び被着体のゴミ・水分・油分などは接着不良の原因となりますので、取り除きます。

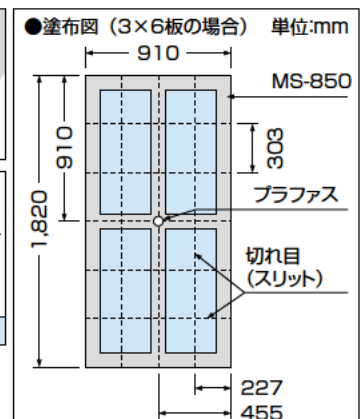
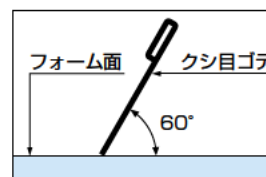
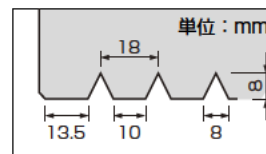
【仕上げ材の加工】

1. 割り付け図面に従って仕上げ材を裁断します。
 2. 下地へのなじみを良くするために、フォーム面にカッターナイフで背割り(スリット)加工をします。
- チェック：背割りは等間隔になるように行います。
(塗布図参照)

【接着剤の塗布】

フォーム面に規定のクシ目ゴテ(下図参照)を使用して、塗り溜りができないように塗布します。(塗布図参照)

- チェック：・3×6板に対し「田」の字になるように接着剤を塗布します。
- ・接着剤を塗布する時は、クシ目ゴテを塗布面から60°以上立てて塗布します。
 - ・MS-850は非危険物ですが、紙などのように可燃性がありますので火気(静電気やスパークなど)には充分注意して下さい。



[公共住宅建設工事共通仕様書に準ずる]

MS-850

【仕上げ材の張り合わせ】

1. 接着剤塗布後すぐに張り合わせ、張合わせ可能時間内に張り終えます。

チェック：張合わせ可能時間は環境温度により異なります。

2. 張り合わせ後は当て木をし、ゴムハンマーなどで仕上げ材の中央部から端部へまんべんなく圧着します。

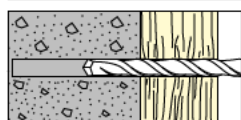
チェック：必要に応じてプラスチックピン、ビス、支え棒などを併用して下さい。

【養生】

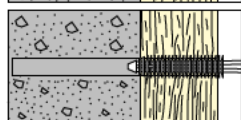
施工完了後、接着剤が硬化するまで(24時間)は外力を加えないように養生します。

チェック：クロス施工は1週間以上養生した後に行って下さい。

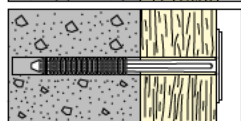
プラファスの施工手順



1. 断熱材を割り付けに従い所定の位置に押えつけ、ハンマードリルで孔をあけます。



2. 断熱材を押えたまま、プラファスを孔に差し込みます。



3. プラファスの頭部が断熱材を押えつけるまで、軽く打ち込みます。

プラファスの取り扱い上の注意事項

- ドリルはハンマードリルを使用して下さい。
- ビットはコンクリート用を使用して下さい。
- 下地がコンクリートの時は、ドリルを「回転+打撃」にセットし、8mmφのビットを使用して下さい。
- 下地がALC板などのように柔らかい時は、ドリルを「回転」にセットし、7.5mmφのビットを使用して下さい。
- ハンマーは、プラスチック製か木製のものを使用して下さい。

施工上の注意事項

- 接着用途以外には、絶対使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5~35℃の環境下で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業場所は換気を行って下さい。又、施工後も接着剤が硬化するまで、通常の換気(日常生活の程度、朝夕1~2時間)を行って下さい。
- 可燃性があります。使用時・取り扱い場所は火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」などに従って下さい。
- 蒸気を吸入したり、皮フに触れたりすると健康障害や皮フ障害(特にカブレ)などを起こすことがあります。
- 取り扱い時には、必要に応じて保護具を着用して下さい。(アレルギー体質の人は特に注意して下さい)
- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切して下さい。(数日で硬化します)

取り扱い上の注意事項

- MS-850を取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
 - 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイを行って下さい。
 - 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 - 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
 - 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
 - 誤飲防止と食品への混入を避けるために保管場所は食品と区別して下さい。
 - 使用済み容器などは許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
 - 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
 - ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
 - MS-850をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

警告及び注意



●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされまようお願ひします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621		技術開発センター FAX: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

210610